

Injury Alert (傷害速報)類似事例

物干し支柱のV字型フックによる口角裂創 (No.80 金属製のフックによる眼瞼裂創の類似事例 2)

事例	基本情報	年齢：7歳7か月 性別：男児 体重：25kg 身長：125cm
	家族構成	母、父(37歳)、妹(4歳)、本児
	発達・既往歴	特記すべき事項なし
臨床診断名		右口角裂創
医療費		外来 10,635円
原因対象	対象名称	金属製物干し支柱 (図1) (製品名、型番号、製造年、製造業者は不明)
	入手経路 使用状況	中古品、入手時期 (受傷の約3年前)、経路 (一戸建て住宅の前居住者が使っていたものを受け継いだ)、使用頻度 (春～秋の晴天時に屋外で使用)
発生状況	発生場所	普段居住していない家屋の庭、積雪70cm (数日前からの大雪を受け、保護者が所有する土地・家屋の雪かき・屋根の雪下ろしのために同地を訪れた)
	周囲の人 周囲の環境	庭には、父と妹がいた。本児はフード付きの上下スキーウェアで、長靴を履いていた。父は本児から数メートル離れた場所で本児の方を向きながら雪かきをしており、本児が雪上で滑って転んだ瞬間を目撃していた。妹は本児から数メートル離れた場所におり、小さなスコップで雪を掘ったり駆け回ったりして本児と遊んでいた。母は家屋内で食事準備中であり、受傷の瞬間を目撃していない。
	発生日月日	2021年1月X日(土) 午前 11時 30分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	上記時刻に、本児は、積雪70cmの庭で駆け回るなどして遊んでいたところ、雪に足をとられ転倒し、物干し支柱のV字型フックの一端(図1)が右口角に引っかかって受傷した。本児は雪面に倒れ込んだ後に泣きながら自力で立ち上がり、流血する右口角を手で覆いながら父に助けを求めた。物干し支柱・V字型フックは横倒しになったり損傷したりすることはなかった。父がティッシュで本児の創部を圧迫しながら、受傷1時間後に医療機関を受診した。

<p>医療機関受診時以降の治療経過 転帰</p>	<p>医療機関受診時、患部の圧迫を解除すると血液が滲み出る程度で、止血していた。右口角の創部は、口腔粘膜側から上口唇白色部にかけて、直径 1.5cm の正円形の裂創で、局所麻酔下に 10 針縫合した。咽頭にも 1cm 大弱の粘膜びらんがあり、軽度出血を認めていたが保存的加療で処置を要しなかった。歯牙や歯肉粘膜の損傷はなかった。その後、患部に局所感染や縫合離開の合併症を認めなかった。X+14 日に抜糸、1.5 か月後に再診し通院を終了した。患部には軽度瘢痕が残存したが、機能的な障害は認めなかった。</p>
<p>キーワード</p>	<p>物干し支柱、フック、口角裂創</p>



図 1 物干し支柱と V 字型フック先端部分

12×2mm 幅＝物干し支柱から伸びる V 字型フックの一端、地面からの高さ 167cm、雪面からの高さ 97cm)